

大阪電気通信大学 エレクトロニクス基礎研究所 ワークショップ

～ 二次電池とキャパシタの開発・研究の新展開 ～

エレクトロニクス基礎研究所では、以下の内容についてワークショップを行います。ぜひご参加ください。

2019年のノーベル化学賞は、日本人科学者を含む3名がリチウムイオン二次電池の開発への貢献で受賞されました。リチウムイオン二次電池は、現在、スマートフォンや電気自動車に使われていて、なくてはならない存在となっています。また、キャパシタは高出力・長寿命の電源としてAV機器、玩具やゲーム機などに広く使用されています。

今後、二次電池やキャパシタには、さらに高容量で急速充放電が可能で、しかも環境にやさしい(環境負荷が少なく、安全な)形が求められています。本ワークショップでは、このような新しい二次電池やキャパシタの開発と研究について、材料開発や評価手法についてご紹介いただき、新たな開発の方向を議論します。

【主催】大阪電気通信大学エレクトロニクス基礎研究所

<http://www.feri.osakac.ac.jp/>

【協賛】日本学術振興会炭素材料第117委員会、炭素材料学会、黒鉛化合物研究会、電気化学会関西支部、電気化学会キャパシタ技術委員会(予定)

【日時】ワークショップ：2020年2月14日(金) 13:00～17:15 (無料)

意見交換会：同日 17:30～19:00 (有志)

【場所】大阪電気通信大学・駅前キャンパス

<http://www.osakac.ac.jp/institution/campus/access/#neyagawa>

【締切】2月10日(月)、ご参加希望の方は以下の内容を申し込み先までメールにてお申し込みください。

- 1) お名前
- 2) 所属
- 3) 連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)
- 4) 意見交換会参加の有無(費用についてはお問い合わせ下さい)

【内容の問い合わせ先】kawaguti@osakac.ac.jp (川口雅之)

【申し込み先】y-atsuya@osakac.ac.jp (大阪電通大・エレ研 山本敦也)

【プログラム】

2月14日(金)13:00～17:20 駅前キャンパス1階

13:00～13:10 開会の挨拶(エレクトロニクス基礎研究所の紹介、ワークショップ趣旨説明)

13:10～14:10 シームレス活性炭電極の開発と電気化学的応用～キャパシタを中心に～
白石 壮志(群馬大学)

14:10～15:10 水系電解質を用いた次世代二次電池に関する研究
宮原 雄人(京都大学)

15:10～15:20 休憩

15:20～16:20 先進リチウムイオン電池向けシリコン系負極材料の開発
武澤 秀治(パナソニック株式会社)

16:20～17:20 次世代二次電池につながるインターカレーション機構と炭素系負極の開発
川口 雅之(大阪電気通信大学)

17:30～ 駅前キャンパス2階 意見交換会